

平成30年度  
赤穂市立赤穂中学校  
「学校だより」

# 荒神台

NO.号外  
平成31年2月6日発行  
文責 校長(平井 正彦)

生徒・保護者のみなさまへ

《地域回覧はありません》

## 部活動の見直しと改善

■部活動の見直しについては、学校だより「荒神台」NO.47(平成30年5月8日発行)で、その趣旨をみなさんにお知らせしてまいりました。その後、校内部活動検討委員会、企画委員会、職員会議、顧問会議など、さまざまな観点から協議を重ねてまいりましたが、その大枠と今後の方向性を、取りまとめる時期になりました。



削減する部活動及び廃部までのスケジュール等について、裏面に記載のとおりですが、これまでの協議の主な内容や確認事項などについて、その概要をお知らせいたします。



■まず、部活動への参加は従来通り、希望入部制とします。また、アスリートを養成・育成する活動ではなく、部活動を通してさまざまな体験をし、学び、社会性を育み、人としての成長をめざす学校教育の一環として活動します。



教職員は従来通り、一定の制限の中で、部活動へ積極的に関わることを確認し、運営については、その指針となる、スポーツ庁の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」、兵庫県教委の「いきいき運動部活動」に沿って、今後も引き続き、部活動運営の見直しを進めていきます。

■次に、削減対象となる部活動について、下記の内容を参考に協議を進めました。



- ・活動状況、部員数、指導者
- ・生徒数、教員定数の推移見込み
- ・校内活動場所、男女人数のバランス
- ・競技経験、指導経験のある教員の状況(専門性が特に要求される種目)

- ・校区内小学生のスポーツ活動への参加状況
- ・中体連競技会参加規定
- ・市内他中学校の部活動設置状況 / 外

■その対象となる部に所属する生徒、保護者、種目関係者で、廃部になることを望む人はおりません。さらに、将来入部を希望していた小学生やその保護者の気持ちも考えれば、胸が痛むところです。



しかし、部員不足、指導者不足、教員の超過勤務の実態、安全確保といった多くの課題の改善に、具体的な手立てや対応が取れない状態の中で、来年度も生徒数と教員数は減少します。

現在、13の部活動の内、4つの部が実質1名の教員で担当していますが、各部活動を複数の教員で担当し運営する体制づくりが必要です。

可能な限り、部活動の選択肢を多く残したいという思いから、削減を先送りしてきましたが、現在のまま部活動を維持していくことが困難な状況になっています。



■削減対象となる具体的な部の絞り込みでは、廃部ではなく休部の状態を望む声もありました。一時的に入部希望者が多くなるなど条件が揃えば、募集と活動を再開して欲しいという思いはよく分かりますが、担当顧問2名を確保できないという課題の改善にはつながりません。

どの部活動にも、部の存続を願う事情や理由があります。その事情を天秤にかけ、軽重を決めることはできません。逆に、全ての部を同じ基準によって選別することも、種目ごとの事情の違いや特性を考えると現実的ではありません。

削減対象の協議においては、どの教職員も、部活動の思い出を振り返りながら、断腸の思いで協議し、実際に部活動を運営している者として、苦渋の選択を迫られたことを、ご理解いただきますようお願いいたします。

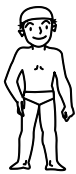


■指導者不足については、いずれの種目においても同様であり、外部コーチの献身的な関わりや種目協会会員の方のご協力をいただき、何とか運営できている種目もあります。

改めて、外部コーチの方々、関係協会の方々に、深く感謝いたします。



■削減する部活動の募集停止は、再来年度（2020年度：平成32年度）の新入生からとし、募集停止になる前の学年の部員が引退するまで、通常の活動を継続します。（一部は2年生の夏の総合体育大会までの活動とし、以後の活動を停止しますが、競技会には3年生まで出場できます。）



■削減対象となった種目において、中学校体育連盟主催の「夏の総体」「秋の新人戦」など、学校にその種目の部活動がなくても、個人戦に出場できる種

目や、個人・団体（チーム）とも出場できる種目があります。中体連主催の公式競技会に限り、引率教師が必要な場合は、その都度協議し、引率教師を配置します。



■部活動の運営や削減については、さまざまなご意見やご要望があると思います。また、生徒たちの行動様式や部活動に対する考え方は多様化し、大きく様変わりしています。これまで、部員不足や指導者不足の心配がなかった種目まで、部員と指導者の確保に奔走する状況にあることをご理解ください。



そして、地域スポーツ活動を中学校が一手に引き受け、教員のボランティアと熱意によって休みなく走り続けてきましたが、一度立ち止まり、これからの「部活動の在り方」を「学校の役割」とセットで考え直すことが必要な時期にきていると感じています。

## ■部活動の見直しと改善について 連絡と説明

- ◎全校生徒 ～臨時生徒集会【学校だより（号外）配付と説明】 ※2/6～2/12 開催
- ◎全校保護者 ～学校だより（号外）配付【臨時生徒集会開催日に生徒持ち帰り】
- ◎新入生・保護者 ～入学説明会 2/13【学校だより（号外）配付と説明】
- ◎該当部活動 ～各部ごとに生徒・保護者に説明【臨時生徒集会開催日以降】



## ■削減対象となる部活動と廃部までのスケジュール

| 部活動名      | 平成31年度<br>(2019年度) | 平成32年度<br>(2020年度)        | 平成33年度<br>(2021年度) | 平成34年度<br>(2022年度) |
|-----------|--------------------|---------------------------|--------------------|--------------------|
| 女子バレーボール部 | 募集                 | 募集停止 →                    | 3年引退後<br>活動停止      | 廃部                 |
| 柔道部       | 募集                 | 募集停止 →                    | 3年引退後<br>活動停止      | 廃部                 |
| 水泳部       | 募集<br>【1年生のみ】      | 募集停止 →<br>総体終了後<br>活動停止※1 | ※1<br>廃部           | ※1                 |
| 生活文化部     | 募集<br>【1年生のみ】      | 募集停止 →<br>文化祭終了後<br>活動停止  | 廃部                 |                    |

※1 部活動はなくなりますが、中体連の総体や他の競技会、記録会等に出場できます。（教職員の引率は中体連主催の競技大会のみとします）